

としょかん発

読んでほしい！ 読んであげたい！

え

ほ

ん

の

森

～年齢別・はじめましてからステップアップへ～

☆絵本の読み聞かせのススメ



子どもにとって、絵本を読んでもらうことは、「楽しみ」の一つです。
ほんの10分～15分の絵本タイムが、親子の心を通いあわせ、絆を深めます。

☆子どもは絵を読みます

文字の読めない子どもは、絵本の絵を読みます。絵を手がかりに大人が読んでいるものを耳で聞いて、絵本の世界をふくらませ、楽しめます。

☆どう読めばいいの？

絵本の読み聞かせに特別な技術はいりません。素直にゆっくりと心を込めて読んであげてみてください。大切なことは、絵本を親子で楽しむということではないでしょうか。

☆どんな絵本を選べばいいの？

絵本を選ぶ一つの目安として、「成人式を終えた絵本」というのがあります。
出版されてから20年以上経っている絵本のことで、現在まで読み継がれてきました。
このリストでは、多くの子どもたちに読み継がれてきた絵本を中心に紹介しています。

図書館では、多くの絵本をそろえています。このリストを参考にみなさんにとっての1冊を探してみてください。

※絵本は、年齢別に紹介していますが、あくまでも目安です。
お子さんにあわせて選んであげてください。



0・1・2歳向け

0・1歳の赤ちゃんにとって、絵本はおもちゃの一つです。手にとって持ちやすい大きさ・重さで、ページ数も多くなく、子どもが手にとって、自分で開けたり閉じたりしやすい、形や色のはっきりした絵本が良いでしょう。

2歳になると自我が芽生えはじめ、言葉の数も増えてきます。実体験をベースとしたものや起承転結のはっきりとしたストーリー性のある絵本が良いでしょう。



『がたんごとん がたんごとん』

安西水丸/作 福音館書店 <EB/フク>

がたんごとんがたんごとんと、まっ黒な汽車がやってくる。駅で待っているのは哺乳瓶。

「のせてくださーい」と言って汽車に乗りこんでいく。再び出発し、次の駅へ行くと…。くり返しのリズムが楽しい絵本。



きんぎょがにげた

五味太郎/作 福音館書店 <ESB>

金魚が金魚鉢から逃げ出した。どこへ逃げた？カーテンの模様の中に隠れている。おや、また逃げた？今度は鉢植えの花のふり。おやおや、また逃げた。今度はどこ？

子どもたちが好きな絵さがし絵本。

本の名前	かいた人	出版社	ラベル
いないいないばあ	松谷 みよ子	童心社	EB ドウ
かお かお どんなかお	柳原 良平	こぐま社	EB コグ sm
でてこい でてこい	はやし あきこ	福音館書店	EB フク
てん てん てん	わかやま しずこ	福音館書店	EB フク
でんしゃ	バイロン・バートン	金の星社	EB キン
どうぶつのおやこ	藪内 正幸	福音館書店	ESB
ぞうくんのさんぽ	なかの ひろたか	福音館書店	ESB
ちいさなうさこちゃん	ディック・ブルーナ	福音館書店	ESB
はけたよはけたよ	かんざわ としこ	偕成社	E ハ
はらぺこあおむし	エリック・カール	偕成社	E ハ

3～4歳ごろから

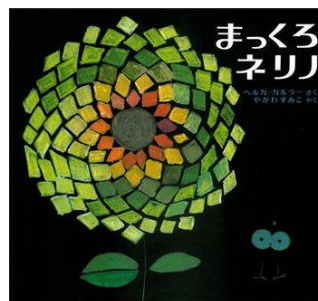
日常の生活体験が積み重なるとともに、言葉も次々と自分のものになってきます。自分が絵本の中の人物になったような気持ちで物語の世界に入りこんでいきます。



『おおきなかぶ』

内田莉莎子/再話 福音館書店 <ESB>

おじいさんが大切に育てたかぶ。ところが、大きくなりすぎて、おじいさん1人では抜くことができない。おばあさんに手伝ってもらってもやっぱり抜けない。そこで、孫、いぬ、ねこを呼んできたが…。昔から読み継がれてきたロシアの昔話。



『まっくろネリノ』

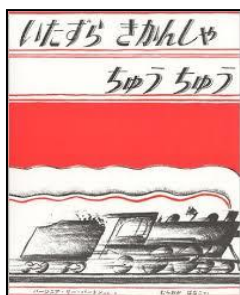
ヘルガ・ガルラー/作 偕成社 <Eマ>

まっくろネリノはまっくろくろ。4人の兄さんたちは、みんなキレイな色をしているのに。だから、ネリノはいつも一人ぼっち。ある日、兄さんたちがいなくなった！父さんと母さんと3人で探してみると…。

本の名前	かいた人	出版社	ラベル
あおくんときいろちゃん	レオ・レオーニ	至光社	E ア
おだんごぱん	せた ていじ (訳)	福音館書店	E オ
おやすみなさいおつきさま	マーガレット・ワイズ・ブラウン	評論社	E オ
きょだいなきょだいな	長谷川 摂子	福音館書店	ESB
ぐりとぐら	中川 李枝子	福音館書店	ESB
しょうぼうじどうしゃじふた	渡辺 茂男	福音館書店	ESB
ちいさなヒッポ	マーシャ・ブラウン	偕成社	E チ
どろんこハリー	ジーン・ジオン	福音館書店	E ド
もりのなか	マリー・ホール・エッツ	福音館書店	E モ
よかったねネッドくん	シャーリップ	偕成社	E ヨ

5～6歳ごろから

子どもの好みも、少しずつはっきりして、時にはお気に入りの本を離さないことも…。そんな時は、どうぞくり返し読んであげてください。言葉の力とともに、想像力も伸びてきます。子どもの心に深く働きかけてくれるものを…。



『いたずらかんしゃ
ちゅうちゅう』
バージニア・リー・バートン/文・絵
福音館書店<Eイ>

機関車ちゅうちゅうは、人や荷物をいっぱいのおせて、小さな町と大きな町を行ったり来たりしている。ある日、重い客車がなければもっと早く走れるのと思ったちゅうちゅうは、自分一人で走り出した。ところが…。



『しずくのぼうけん』
マリア・テルリコフスカ/作
福音館書店<Eシ>

バケツから飛び出したみずのしずく。あっという間にねずみ色になってしまった。水にはまったしずくは、お日様に照らされて、どんどんやせていって…。

本の名前	かいた人	出版社	ラベル
かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	E カ
かにむかし	木下 順二	岩波書店	E カ 日本
くまのコールテンくん	ドン・フリーマン	偕成社	E ク
三びきのやぎのがらがらどん	マーシャ・ブラウン	福音館書店	E サ
ジャイアント・ジャム・サンド	ジョン・ヴァーノン・ロード	アリス館	E ジ
すてきな三にんぐみ	トミー＝アングラー	偕成社	E ス
ちいさいおうち	バージニア・リー・バートン	岩波書店	E チ
ぼちぼちいこか	マイク＝セーラー	偕成社	E ボ
みんなうんち	五味 太郎	福音館書店	E4 チシ キ
ラチとライオン	マレーク・ベロニカ	福音館書店	E ラ